

BCG予防接種のお知らせ

わが国の結核患者はかなり減少しましたが、まだ2万人前後の患者が毎年発生しているため、大人から子どもに感染することも少なくありません。また結核に対する抵抗力(免疫)はお母さんからもらうことはできませんので、生まれたばかりの赤ちゃんもかかる心配があります。乳幼児は結核に対する抵抗力(免疫)が弱いので、全身性の結核症にかかったり、結核性髄膜炎になることもあり、重い後遺症を残す可能性があります。結核を予防する為に1歳までにBCG接種を受けましょう。

<感 染> 結核菌の空気感染でおこります。
結核菌の飛沫核が空気中を伝って広がり、それを吸い込んでうつる場合がほとんどです。

<ワクチン> 牛型結核菌を弱めた生ワクチンです。
接種後10日頃に接種局所に赤いポツポツができ、一部に小さくうみができることがあります。この反応は、接種後4週間頃に最も強くなりますが、その後は、かさぶたができて接種後3か月までには治り、小さな傷跡が残るだけになります。これは異常反応ではなく、BCG接種により抵抗力(免疫)がついた証拠です。包帯をしたり、バンソウコウをはったりしないで、そのまま清潔に保ってください。自然に治ります。ただし、接種後3か月を過ぎても接種のあとがジクジクしているような時は医師に相談してください。接種後、10日以内に上記症状(コッホ現象といいます)が見られた場合には、速やかに医師に相談してください。

<副 反 応> 接種をした側のわきの下のリンパ節がまれに腫れることがあります。通常、放置して様子を見てかまいませんが、ときにただれたり、大変大きく腫れたり、まれに化膿して自然にやぶれてうみが出る場合があります。このようなときは医師に相談してください。

1 持参するもの

BCG予防接種予診票(松戸市交付) 予防接種番号 母子健康手帳

氏名・生年月日・住所が確認できるもの(マイナンバーカードなど) 子ども医療費助成受給券

★「予診票(無料券)」に必要事項を記入する際には、ボールペンを使用してください

2 受ける年齢と受け方

・生後1歳未満で1回接種 (1歳を過ぎると無料での接種はできません)

※標準的接種期間は 生後5か月以上8か月未満です

・先天的に免疫の力の弱い病気があると重い副反応が起こることがありますので、できるだけ生後3か月以降に接種するのが望ましいでしょう。

3 接種方法

・松戸市と契約している医療機関で受ける個別接種です。(別紙医療機関一覧表参照)

・契約している医療機関以外では、「予診票(無料券)」は使用できません。

・転出等で松戸市に住民登録がない場合は、松戸市発行の「予診票(無料券)」は使用できません。

4 受けることができない人

(1)明らかに発熱(通常37.5℃以上をいいます)のある人

(2)重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな人(急性で重症な病気で、薬を飲む必要のあるお子様は、その後の病気の変化もわからないことから、その日は接種を受けないのが原則です。)

(3)広い部分にかけて皮膚病にかかっている人(ケロイド体質の人は医師に相談してください)

(4)その日に受ける予防接種の接種液に含まれる成分でアナフィラキシーを起こしたことがある人

アナフィラキシーというのは通常約30分以内に起こるひどいアレルギー反応のことです。汗がたくさん出る、顔が急に腫れる、全身にひどいじんましんが出るほか、はきけ、嘔吐、声が出にくい、息が苦しいなどの症状に続きショック状態になるようなはげしい全身反応のことです。

- (5) 免疫抑制剤、副腎皮質ホルモン剤を服用している人
- (6) 注射生ワクチン〈麻しん・風しん混合(MR)、おたふくかぜ、水ぼうそうなど〉の予防接種を受けて27日以上経過していない人
- (7) その他、医師が不適切な状態と判断した場合

5 受ける前に医師とよく相談しなくてはならない人

★下記に該当する人はかかりつけの医師と相談し、必要に応じて「**診断書または意見書**」をもらってから接種に行きましょう。

- (1) 心臓病・腎臓病・肝臓病・血液の病気や発育障害などで治療を受けている人
- (2) 前に予防接種を受けたとき、2日以内に発熱、発疹、じんましんなどアレルギーと思われる異常がみられた人
- (3) 今までにけいれん(ひきつけ)を起こしたことがある人
- (4) 過去に中耳炎や肺炎などによくかかり、免疫状態を検査して異常を指摘されたことのある人、又、近親者に先天性免疫不全症の者がいる人
- (5) ワクチン内の成分に対しアレルギーがあるといわれた人
- (6) 薬の投与を受けて皮膚に発疹が出たり、体に異常をきたしたことがある人
- (7) 過去に、結核にかかった人と長期に渡り接触したことがある人、その他の結核感染の疑いのある人
- (8) 麻しん(はしか)は治ってから4週間、風しん、おたふくかぜ、水ぼうそうなどは治ってから2～4週間経過していない人、いずれの場合も一般状態を主治医が判断し、決定します

6 接種上の注意

- (1) 予防接種を受けた後30分間は、医療機関でお子様の様子を観察するか、医師とすぐに連絡をとれるようにしておきましょう。
- (2) 接種後生ワクチンでは4週間、不活化ワクチンでは1週間は副反応の出現に注意しましょう。
- (3) 接種後は日光を避けて自然乾燥させてください。
- (4) 入浴は差し支えありませんが、接種部位をこすることはやめましょう。
- (5) 当日は、激しい運動は避けましょう。
- (6) 異なる種類の注射生ワクチンを受けるときは、接種日から27日以上の間隔をあけてください。
(接種した翌日が1日目となります。)

7 予防接種による健康被害救済制度

定期の予防接種によって引き起こされた副反応により、医療機関での治療が必要になったり、生活に支障がでるような障害を残すなどの健康被害が生じた場合には、予防接種法に基づく補償を受けることができます。

◎何か気になる症状が出た場合は、医師の診察を受けてください。